

7. その他



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

学校における献血への理解増進に向けた取組について

◆学校における取組の現状

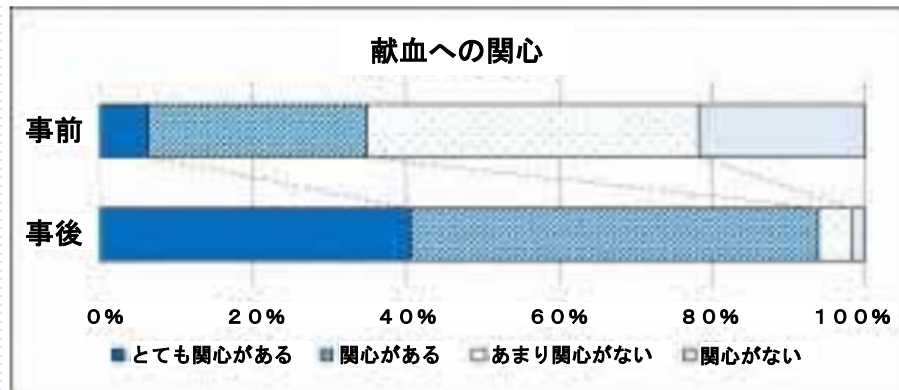
学校においては、高等学校保健体育科の授業のほか、学校教育活動全体を通じて、厚生労働省及び日本赤十字社が提供する献血に関する啓発資料や動画コンテンツ、出前講座等を活用しながら、児童生徒の発達の段階に応じて、献血教育に取り組んできた。

【高等学校】

- 高等学校学習指導要領（平成30年告示）の保健体育編の解説に「献血の制度」が記載されている。
- 各学校においては、保健体育科の授業のほか、生徒会や生徒保健委員会、ボランティア部等により、献血への理解を深める活動が行われている。

◆高等学校における学習の事例

- 「保健・医療制度」について学習する際に、献血の制度について取り上げて指導。
 - ・ **「けんけつ HOP STEP JUMP」**等を用いて、献血の重要性や基礎知識等について説明
 - ・ **日本赤十字社献血セミナーDVD「みんながくれた卒業式」**の視聴
 - ・ ワークシートを使用したグループワークによる課題の発見と解決策についての検討 等
- 実践の成果（アンケート）



- ・ DVDや分かりやすい資料により、「献血ができる条件や方法を具体的に理解できた」「献血の必要性を実感した」等の回答があり、生徒の関心を高めることができた。
- ・ ワークシートを活用し、グループ協議を実施することで、献血を行うことだけではなく、広報活動を行うなど、今後の自分たちにできることについて考えることができた。



【小中学校】

- 各学校においては、都道府県赤十字血液センター等の見学や献血セミナー（出前講座）等を活用した教育活動が行われている。

◆小学校における献血セミナー（命のボランティア講座）の実施の事例

- 小学校第6学年の学年行事として、県の赤十字血液センターの協力を得て、「献血セミナー（命のボランティア講座）」を実施。
- 県の赤十字血液センターの方のお話やDVDの視聴を通して、献血の歴史や大切さ、献血によって互いを助け合うことを学習。
- 児童からは、
 - ・「献血という言葉は知っていたけれど、さまざまな人の役に立っていることは初めて知った」
 - ・「大人になったら献血しようと思った」という感想があり、今回の学習を通して、人と人々が助け合う社会について考えを深めることができた。



◆今後の取組の充実に向けて

献血は日本の輸血医療を支える重要な制度であり、近年、少子化の影響等により若年層の献血者数の減少が顕著となっている中で、児童生徒の献血への理解増進を図り、献血可能年齢の16歳以降、献血により積極的に社会に貢献していく意欲や態度を養うため、厚生労働省と連携し、小中学校段階における取組の充実を図る。

（考えられる方策）

- ・ 小中学生向けの啓発資料や動画コンテンツの作成・周知
- ・ 小中学校における都道府県赤十字血液センター等の見学や献血セミナー、関係者の外部講師としての活用の促進

学校における献血への理解増進に向けた取組について

「学校における献血への理解増進に向けた取組について（依頼）」

（令和8年6月10日付け文部科学省総合教育政策局健康教育・食育課事務連絡）

【事務連絡のポイント】

- ・小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等における献血啓発資材の活用
- ・都道府県赤十字センターが行う出前講座や学校献血等により、献血に触れ合う機会を積極的に受け入れる等の、若年層の献血への理解増進に向けた取組をについて依頼

【献血啓発資材の例】

（パンフレット）

- ・小学生向けテキスト「みんなで学ぼう 献血のこと」
<https://www.jrc.or.jp/donation/blood/about/introduction/>
- ・中学生向け献血啓発テキスト「教えて！けんけつちゃん～中学生に知ってほしい、献血のはなし～」
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_66275.html
- ・生徒用テキスト「けんけつHOP STEP JUMP」（2025年度版）
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_44398.html
- ・血液事業紹介パンフレット「愛のかたち献血」（小学生・中学生向け）
https://www.jrc.or.jp/donation/pdf/2025ainokatachi_syoucyuugakusei.pdf
- （動画）
- ・「けんけつちゃんからのSOS」けんけつって？けつえきって？動画で分かりやすく見ようっち！
<https://www.youtube.com/watch?v=mclh1RQTVXE>
- ・身近にあるボランティア「献血」のご紹介
<https://www.youtube.com/watch?v=f0Lq73cXrVY>
- ・献血啓発アニメ「誕生!!KKT21」（本編フルバージョン）
<https://www.youtube.com/watch?v=aIKbkLV42oQ>
- ・中高生向けの献血啓発動画「僕たちは巡っていく」（フルバージョン）
<https://www.youtube.com/watch?v=-S6j0ORDSEI>
- ・小学生向け動画「みんなで学ぼう 血液のこと」
https://www.youtube.com/watch?v=_PA-Qwb2Rdw
- ・「ありがとうの手紙From献血で救われたいのち」fullバージョン
<https://www.youtube.com/watch?v=TGojWkhjoLA>
- ・船原知香さんの輸血実体験を基にしたアニメーション
<https://www.youtube.com/watch?v=j72GIMGtNYo>



小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等に配付された献血啓発資材の活用等、献血への理解増進に向けた取組をお願いするものです。

事務連絡
令和8年6月10日

各都道府県・指定都市教育委員会学校保健担当課
各都道府県私立学校主管部課
附属学校を置く各国公立大学法人事務局
小中高等学校を設置する学校設置会社を所轄する
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を
受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課

御中

文部科学省総合教育政策局健康教育・食育課

学校における献血への理解増進に向けた取組について（依頼）

近年、少子化の影響等により若年層（10代から30代）の献血者数の減少が顕著となっています。将来にわたって安定的に血液を確保するために、献血可能年齢前の児童生徒も含め、若年層を対象とした献血の普及啓発が重要であり、令和7年6月13日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2025」に、「小中学生から献血に対する理解を深める」ことが盛り込まれたところです。

この度、厚生労働省より、令和8年6月9日付け事務連絡で学校における献血推進活動について周知等の協力依頼（別添1参照）がありましたので、この趣旨を御理解いただき、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等において、令和7年7月及び12月頃に配付された献血啓発資材を活用いただくとともに、都道府県赤十字献血センターが行う出前講座や学校献血等により、献血に触れ合う機会を積極的に受け入れるなど、献血への理解増進に向けて取り組んでいただきますようお願いいたします。特に学校献血については、別添1別紙3の「学校献血について」を参考にすると、献血に触れ合う機会を作るといった取組の推進をお願いします。

また、文部科学省では、「現代的な健康課題（がん教育等）理解増進事業」において、例えば、日本赤十字社の職員や医師、輸血を受けた患者等を外部講師として活用する際の経費の支援を行うこととしていますので、併せて御活用ください（別添2）。

このことについて、都道府県・指定都市教育委員会におかれては所管の学校及び域内の市区町村教育委員会に対して、都道府県私立学校主管部課におかれては所轄の学校法人等を通じてその設置する学校に対して、附属

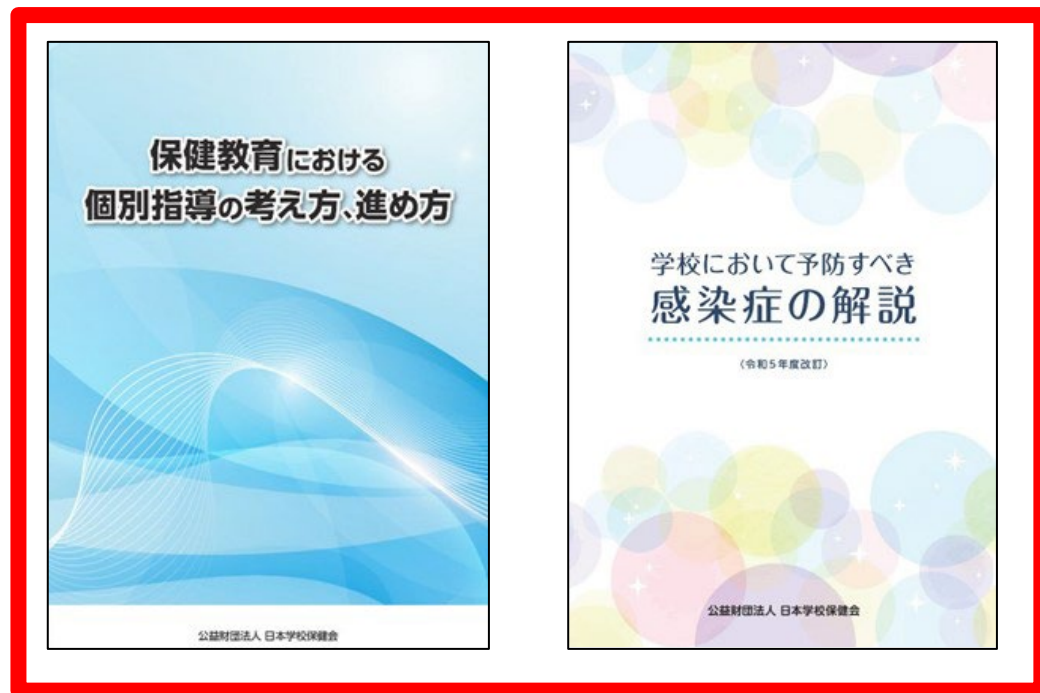
8. 参考資料・啓発資料



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

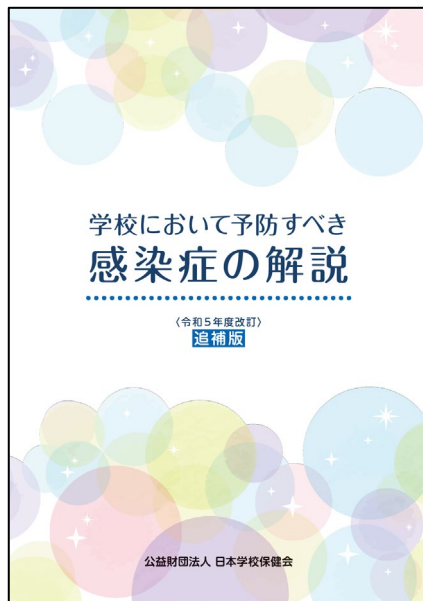


本スライドに抜粋した資料なども連絡協議会の「参考資料」に掲載しています！是非御活用ください！

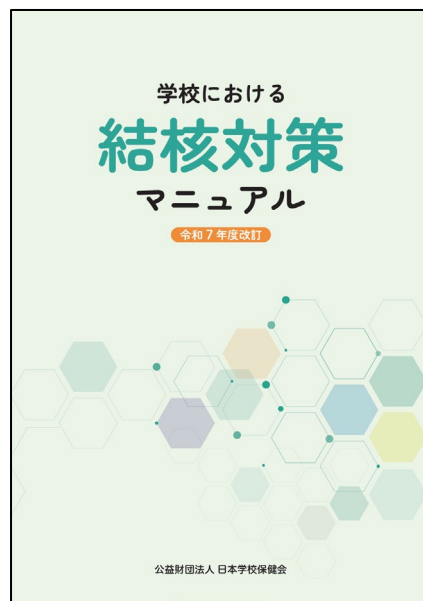


文部科学省

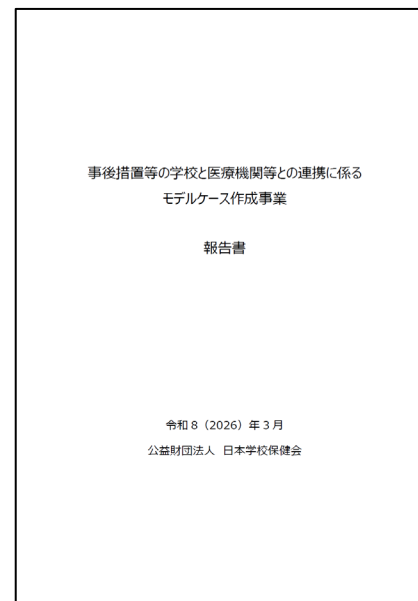
MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



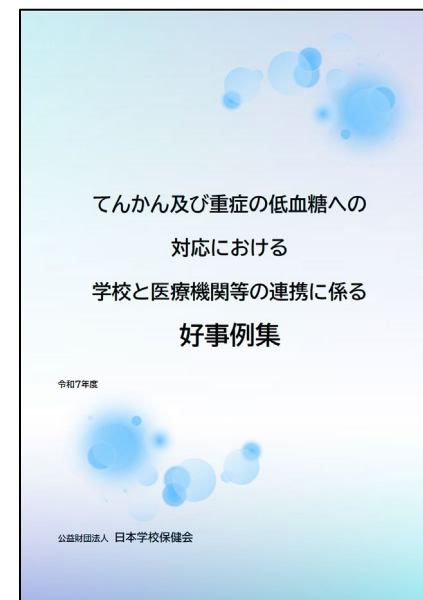
学校において予防すべき感染症の解説
〈令和5年度改訂〉【追補版】



学校における結核対策マニュアル
〈令和7年度改訂〉



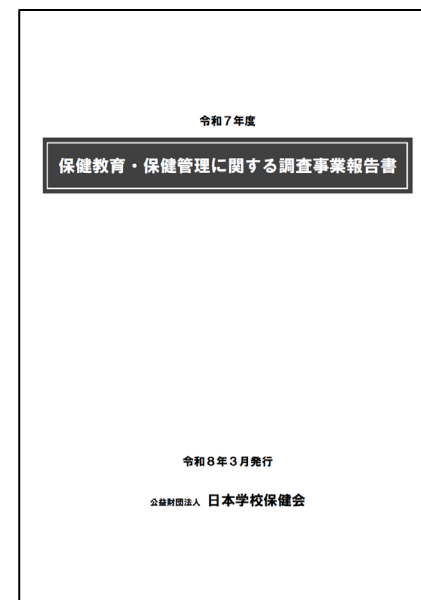
事後措置等の学校と医療機関等との連携に係るモデルケース作成事業
てんかん及び重症の低血糖への対応における学校と医療機関等との連携に係る好事例集



歯科保健教育指導事例集



心の健康に係る参考資料



保健教育・保健管理に関する調査事業報告書

＜日本学校保健会ホームページ（日本学校保健会刊行物）＞
<https://www.gakkohoken.jp/books/archives/category/r07>



ふくろう先生と いっしょに！ 大切な目をまもろう

みんなの目は、よく見えるかな？
日本では視力が低くなっている子供が、
どんどん増えているんだ。



目の健康のために、みんなに
4つのお願いがあるんじや。
今日からいっしょに
やってみよう！

できるだけ外で遊ぶようにしましょう

外で過ごす、近視になりにくいよ。
「休日1日2時間」を目標にしよう。
※熱中症や紫外線にも気をつけてね。



明るい部屋で目から30cm離して見よう

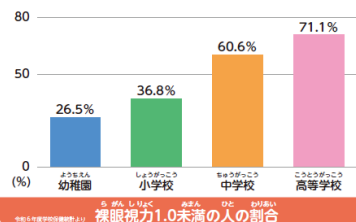
本や画面を見るときは、部屋を明るくして、
顔を近づけすぎず、目から
「30cm離して」見よう。



おうちの方へ
（保護者向け）

子供の頃の生活習慣が、将来の視力に大きく影響します。「外遊び」「30分ごとの休憩」
「明るい部屋で」「目との距離」について、ご家庭でもルール作りと声かけをお願いいたします。

小学生でも3人に1人は裸眼視力が1.0未満なんだ。40年くらいで、裸眼視力が1.0未満の子供はどんどん増えているよ。



長い時間、近くを見続けないようにしましょう

ずっと近くを見ていると、
目が疲れてしまうよ。
「30分に1回」は、
「20秒以上」、遠くを
見たりして目を休めよう。



背骨からのSOS、 見逃していませんか？

脊柱側弯症の早期発見が子供の未来を守ります。

脊柱側弯症ってなんだろう？

- 背骨が左右にカーブする病気で、思春期の女子に多いと言われています。
- 原因はまだはっきり分かっておらず、進み方も人によって違います。
- 自覚症状がなく、自分では気付きにくいこともあります。

側弯が進行すると……

- 腰や背中の痛み・疲れ、息がしづらい感じが出る場合があります。
- 姿勢や見た目の変化により、心理的なストレスが生じることがあります。

早期発見・早期治療が大切！

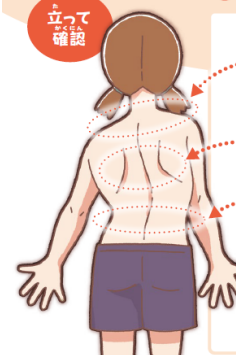
- 早く気付けば、多くの場合、経過観察や装具（コルセット）による治療を行いながら、学校生活や部活動を続けることができます。
- 背骨のカーブが大きくなるまで気付かないと、まれに手術が必要になることもあります。
- 「ちょっと変かな？」と思ったら、早めに病院を受診しましょう。

家庭でも背中や腰をチェックしてみましょう

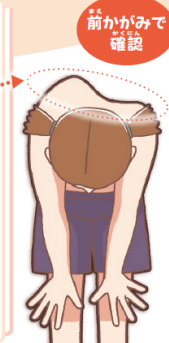
- 下のイラストを参考に、家族と一緒に鏡の前で背中や腰の様子をチェックしてみましょう。
- 気になるサインがあったら、一人で悩まず、保健室やかかりつけ医・整形外科医に相談しましょう。

ちょっとだけ、背中タイム

家庭でもすぐできる背骨のチェック



1. 肩の高さの左右差
鏡の前でまっすぐ立ち、左右の肩の高さが同じかを見ます。
2. 肩甲骨の高さ・位置の左右差
後ろ姿を見て、左右の肩甲骨の高さや出方がそろっているかを見ます。
3. ウエストラインの左右差
腰のくびれや体のわきのラインが、左右で同じような形・高さを見ます。
4. 背中・肋骨のふくらみ（肋骨隆起・腰部隆起）の左右差
両手を下にかけてゆっくり前かがみになり、背中や肋骨の片側だけが高くなっていないかを見ます。



睡眠対策（厚生労働省WEBサイトより抜粋）

厚生労働省において、健康日本21（第三次）における休養・睡眠分野の取組を推進するため、生活指導の実施者（保健師、管理栄養士、医師等）、政策立案者（健康増進部門、まちづくり部門等）、職場管理者、その他健康・医療・介護分野において良質な睡眠の確保を支援する関係者等を対象者として、睡眠に係る推奨事項や参考情報をまとめています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/suimin/index.html

普及啓発用『Pokémon Sleep』に登場するポケモンを起用したリーフレット



「健康づくりのための睡眠ガイド2023」に基づき、良質な睡眠をとるための参考となる情報を、わかりやすくまとめた「Good Sleepガイド（ぐっすりガイド）」



<https://www.mhlw.go.jp/content/001288006.pdf>

<https://www.mhlw.go.jp/content/001298243.pdf>

